



2025年8月7日

各 位

会 社 名 テスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 一樹
(コード：5074 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理本部長 平倉 正章
(TEL：06-6308-2794)

業績予想及び配当予想の修正 並びに営業外費用（持分法による投資損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2025年6月期連結累計期間において、営業外費用（持分法による投資損失）を計上することになりましたので、お知らせいたします。また、2025年8月7日開催の取締役会において、当該営業外費用の計上及び最近の業績の動向等を踏まえ、2024年11月5日に公表した2025年6月期（2024年7月1日～2025年6月30日）の連結業績予想を修正し、これに伴い2024年11月5日に公表した配当予想も修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

（1）修正の内容

2025年6月期の連結業績予想数値の修正（2024年7月1日～2025年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	38,000	2,700	400	700	9.93
今回修正予想（B）	36,600	2,500	△650	200	2.84
増 減 額（B－A）	△1,400	△200	△1,050	△500	－
増 減 率（％）	△3.7	△7.4	－	△71.4	－
（参考）前期実績 （2024年6月期）	30,643	2,370	7,660	1,185	16.82

（2）修正の理由

売上高及び営業利益につきましては、エンジニアリング事業における受託型EPC（再エネ）が好調に推移し、エンジニアリング事業全体で計画を上回る見込みである一方、エネルギーサプライ事業におけるO&M、電気小売供給及びバイオマス燃料が計画よりも低調に推移する見込みであり、売上高及び営業利益共に前回発表予想を下回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、下記3.の営業外費用の計上に加え、2025年6月期末における為替差損の評価影響（デリバティブ評価損益の影響除く）等を考慮した結果、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想は下回るものの、前回発表予想で見込んでいた特別利益の計上に加え、法人税等調整額（益）の計上等を考慮した結果、予想値は200百万円となる見込みとなりました。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2024年11月5日発表)	0.00	7.66	7.66
今回修正予想	—	5.12	5.12
当期実績	0.00	—	—
(参考) 前期実績 (2024年6月期)	0.00	16.00	16.00

(2) 修正の理由

当社の配当政策は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主への利益還元を重視し安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、1株当たり配当金を為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除いた1株当たり連結当期純利益で除した金額を連結配当性向と定義した上で、連結配当性向30%を目安に配当を実施し、業績向上に伴って還元拡充を図ってまいります。

上記の配当政策のもと、修正後の連結業績予想の1株当たり連結当期純利益からデリバティブ評価損の影響を除いた金額に基づいて連結配当性向30%を目安に配当を実施することとし、修正後の配当予想につきましては、前回発表予想よりも2.54円減配し、1株当たり5.12円といたします。

修正後の配当予想の前提は以下のとおりであります。

修正後の連結業績予想からデリバティブ評価損の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益（予想）	1,202百万円
修正後の連結業績予想からデリバティブ評価損の影響を除いた1株当たり連結当期純利益（予想）	17.05円
連結配当性向	30%
修正後の1株当たり配当金（予想）	5.12円

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

3. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上について

当社の持分法適用関連会社であるTOLLCUX INVESTMENTS LIMITED（以下「TOLLCUX社」といいます。）の決算報告等に基づき、2025年6月期連結累計期間において持分法による投資損失532百万円を営業外費用として計上いたします。

TOLLCUX社は英国南東部における系統用蓄電所事業への出資企業であり、当社グループは日本における系統用蓄電所市場の拡大を見据え、系統用蓄電所の運用ノウハウの早期獲得等を目的として、2021年12月、国内市場が本格化する前にTOLLCUX社への持分法適用による出資を行いました。現在、当該出資参画を通じて得られた知見を活用し、日本国内における系統用蓄電所の開発を推進しております。

なお、今回発生した持分法による投資損失は、英国における送配電会社の系統接続の仕様変更等に伴う工期の遅延及び事業コストの増加等に起因するものであり、日本国内の系統接続の状況とは異なるものと考えております。そのため、当社グループの中期経営計画における注力事業分野である系統用蓄電所の開発目標等の変更はございません。

以 上